

PAT-NO: JP02000000039A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000000039 A

TITLE: SHIMORI ATTACHABLE AND DETACHABLE WITHOUT
CUTTING LINE OF FISHING TACKLE

PUBN-DATE: January 7, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
INOUE, TERUAKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
INOUE TERUAKI	N/A

APPL-NO: JP10204197

APPL-DATE: June 15, 1998

INT-CL (IPC): A01K093/00, A01K091/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a Shimori (a small weight to be attached to a float for special fishing) composed of right and left members screwed with each other and separable at a part contacting with a line-passing hole at the center of the Shimori, attachable to and detachable from the line without removing a connection tool from the line and dispensing with the work for binding or disconnecting the line to the connection tool at the fishing site in the start, change or finish of fishing.

SOLUTION: The Shimori 1 is made of a plastic material and composed of a left member having a male screw 4 and a right member having a female screw. These

Best Available Copy

members are screwable together or separable into the right and left members.

The left male screw member 4 has a line-threading hole 2 similar to conventional Shimori. The male screw 4 has a narrow groove 3 expanding toward

both ends and having a width enabling the insertion of the line from an end of

the male screw 4 toward the line-threading hole 2. The right female screw is provided with a draining hole 7 and the surface of a part of the

Shimoi 1 is

corrugated 6 to prevent the slipping of fingers.

COPYRIGHT: (C)2000, JPO

DERWENT-ACC-NO: 2000-129384

DERWENT-WEEK: 200012

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Screw type small float for use with fishing
rod and reel arrangement

PATENT-ASSIGNEE: INOUE T[INOUI]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0204197 (June 15, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2000000039 A	January 7, 2000	N/A
004 A01K 093/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000000039A	N/A	1998JP-0204197
June 15, 1998		

INT-CL (IPC): A01K091/06, A01K093/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000000039A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A guiding thread passing hole (2), formed on the male screw (4) of a small float (1), adjoins a groove (3) on the same screw to allow the guiding thread to enter from the male screw peripheral edge into the groove. The male screw is paired and matched to a female screw. The guiding thread can be removably coupled to a guiding thread reel even while attached on the float.

USE - For use with fishing rod and reel arrangement.

ADVANTAGE - Allows guiding thread to be put in or out of float reel as well as guiding thread reel without cutting thread from small float. Enables

simple
guiding thread and reel attachment or detachment before or after
fishing.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of a
small
float with the male and female screws detached from each other.

Small float 1

Guiding thread passing hole 2

Groove 3

Male screw 4

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: SCREW TYPE FLOAT FISH ROD REEL ARRANGE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-097535

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-39

(P2000-39A)

(43)公開日 平成12年1月7日(2000.1.7)

(51)Int.Cl.
A 01 K 93/00
91/06

識別記号

F I
A 01 K 93/00
91/06

マーク*(参考)
C 2B107
Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全4頁)

(21)出願番号 特願平10-204197

(22)出願日 平成10年6月15日(1998.6.15)

(71)出願人 597092613

井上 輝明

熊本県熊本市竜田町弓削646-103

(72)発明者 井上 輝明

大分県大分市岩田町3丁目25番2号 今津
留住宅9棟402号

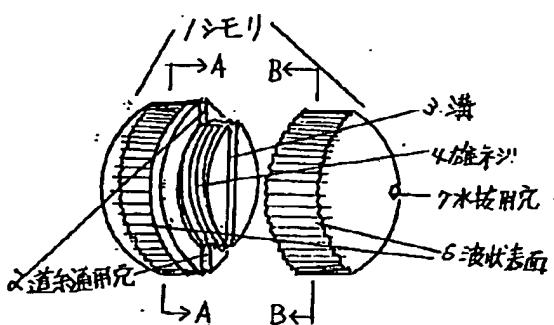
Fターム(参考) 2B107 HA03 HA05 HA09 HA24 HA28

(54)【発明の名称】 鈎道具の道糸を切らずに取付け取外しができるシモリ

(57)【要約】

【課題】 シモリ(1)の中央の道糸通用穴(2)に接する部分よりネジ式で左右2分できることから、連結道具を道糸に付けたままで、シモリ(1)を道糸に取り付け取外しができ、鈎の着手、変更、終了時等には、釣現場で道糸を連結道具と結んだり切ったりする必要のないシモリ(1)である。

【解決手段】 シモリ(1)を中心部から左方は雄ネジ(4)、右方は雌ネジのネジ式にして、左右に2分したり、締め付けて一つにしたりできるように樹脂加工する。そして、上記の左方の雄ネジ(4)の方には、従来のシモリと同じ道糸通用穴(2)を設けるが、その雄ネジ(4)には道糸を雄ネジ(4)の端から道糸通用穴(2)に向かって出し入れできる程度の溝(3)を端は少し広めに中は狭めに設け、右方の雌ネジには水抜用穴(7)を設け、更に、シモリ(1)の一部の表面は、滑らないように波状表面(6)にする。以上を特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シモリ(1)を中央部から左右に2分できるように雄ネジ(4)及び雌ネジ(5)を設け、シモリ(1)の雄ネジ(4)の方には道糸通用穴(2)を設け、その道糸通用穴(2)まで雄ネジ(4)の端から道糸(8)を道糸通用穴(2)に自由に出し入れできるよう溝(3)を設ける、そのシモリ(1)をネジを回すように左右に2分したり、逆に締め付けたりすることでシモリ(1)をその溝(3)から道糸用サルカン(10)の連結道具付きの道糸(8)に直接取付け、取外しできるようにした釣道具である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、シモリを道糸通用穴に添った中央部からネジ式にして左右に2分できるようにして、道糸用サルカンの連結道具を釣現場でいちいち道糸から切ったり、取付けたりせずにそのシモリの取付け、取外しができるようにした釣道具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、釣道具として道糸(8)に取り付けるため、単に道糸通用穴(2)を設けた樹脂玉のシモリがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

(イ) 従来のシモリ(1)は、道糸(8)から道糸用サルカン(10)を切り取らないと直接取付け取外しができなかった。一般に、シモリ(1)が道糸(8)に付いていない状態では、ハリス用スナップ(11)を道糸用サルカン(10)から取外すと、浮き用サルカン(14)は道糸用サルカン(10)よりサイズが大きいから道糸用サルカン(10)付きのまま道糸(8)に出し入れができ、道糸(8)は、道糸用サルカン(10)付きのまま釣竿(17)のサルカン付道糸の通用穴(15)を通して釣竿(17)上のリールに巻取ってしまうことができ、また、取り出もし道糸用サルカン(10)が付いたままできるようになっている。しかし、シモリ

(1)を付けたままで、上記のような道糸(8)等の巻取り取り出しもできない。従って、シモリ(1)使用の釣りの場合、リールに道糸(8)を巻取って釣道具を片付けている状態の時には、道糸用サルカン(10)を道糸(8)から切り取っておかねばならないこととなり、前もった十分な準備もできず、常に釣りの着手、終了、変更時に釣現場で道糸用サルカン(10)と道糸(8)をいちいち結んだり切ったり等を繰り返さなければならなかった。

(ロ) また、シモリの道糸通用穴は、道糸専用の通し穴であることの必要上、小さく通しづらい。本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

10

20

30

40

50

【0004】

【課題を解決するための手段】シモリ(1)を中央部で雄ネジ(4)、雌ネジ(5)でネジ式にすることで左右2分でき、また、逆に、締め付け一つのシモリ(1)にできるように樹脂加工する。そして、シモリ(1)の雄ネジ(4)の方には、従来と同様の道糸通用穴(2)を設ける。更に、雄ネジ(4)の先端部から道糸通用穴(2)に向かって溝(3)を設ける。溝幅は、手前は少し広く探っても中部は道糸通用穴(2)より少し狭めにする。雌ネジ(5)の方には、水抜用穴(7)を雌ネジ(5)の中心に向かって設ける。また、シモリ(1)の一部の表面は、滑りにくいように波状表面(6)とする。本発明は、以上のような構成よりなるシモリである。

【0005】

【発明の実施の形態】シモリ(1)を両手の指先で持ち、ネジの原理で雌ネジ(5)の方を回すと、シモリ(1)は、左右に2分し、道糸(8)との取付け、取外しも道糸用サルカン(10)を切ることなく自由にできる。そして、シモリ(1)の一部の表面には、摩擦がある波状表面であるから締め付け、緩めもしやすい。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。
(イ) シモリ(1)は、重量が軽く強固な樹脂で、指先で、締め付け緩め等しやすいように、しかも、水の抵抗ができるだけ少なくするように、左右から見るとややだ円形となるように加工する。

(ロ) シモリ(1)は、道糸通用穴(2)に接する中央部から雄ネジ(4)、雌ネジ(5)でネジ式にして、左右に2分し、取り外せるように加工する。

(ハ) 雄ネジ(4)の方に道糸通用穴(2)を設け、その穴まで道糸(8)を自由に出し入れできる程度の溝(3)を中部は狭く、手前の端は少し広めにして設ける。

(ニ) 雌ネジ(5)の方には、ネジの中心部に向かって水抜用穴(7)を設ける。

(ホ) シモリ(1)の一部の表面には、指先でつまみやすい波状表面とする。本発明は、以上のような構造で、シモリ(1)は、右側の雌ネジ(5)の方を回すだけで、シモリ(1)を左右に2分し、道糸用サルカン(10)を道糸(8)から切らずに雄ネジ(4)の溝(3)から簡単に道糸通用穴(2)に取り付けられ、また、逆に取外しもできる。なお、シモリ(1)の一部の表面は、波状表面になっているから、締め付け、緩めもしやすい。

【0007】

【発明の効果】特に浮き釣の場合、事前に①釣竿(17)、②道糸用サルカン(10)を結びつけたままの道糸(8)を巻取ったリール、③ハリス付スナップ(11)を付けたハリス(9)、④浮き用スナップ(13)

3

に浮き用サルカン(14)を連結しそれに取り付けた浮き(12)等を前もって準備しておけば、サルカンのサイズが大きい浮き用サルカン(14)は道糸用サルカン(10)をつけたままの状態で道糸(8)に出し入れでき、また、シモリ(1)も道糸(8)に直接取付け外しができることから、釣現場では道糸(8)を道糸用サルカン(10)と結んだり切ったりすることなく、上記のとおり、浮き用サルカン(14)とシモリ(1)を取り付けたら、瞬時にハリス付スナップ(11)を道糸用サルカン(10)に取り付けて釣に取りかかることができる。また、釣の変更、終了時も前記のとおり連結道具の取付け取外し等だけで簡単にできる。そして、ハリス付きスナップ(11)を道糸用サルカン(10)から外しているときには、道糸用サルカン(10)と連結したままの道糸(8)を釣竿(17)上のサルカン付道糸の通用穴(15)を通してリール(1)に巻取ることもでき、釣道具の整理、始末もしやすく速い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシモリを2分した状態の左側の道糸通用穴まで溝のある雄ネジの方及び右側の雌ネジの方の斜視図である。

【図2】本発明の図1のシモリの左側の雄ネジの方のA-A断面図及び右側の雌ネジの方のB-B断面図である。

【図3】本発明の図1のシモリの左側の雄ネジの方の内面図及び右側の雌ネジの方の内面図である。

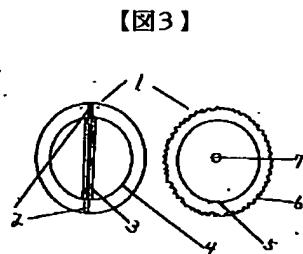
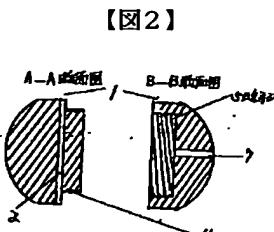
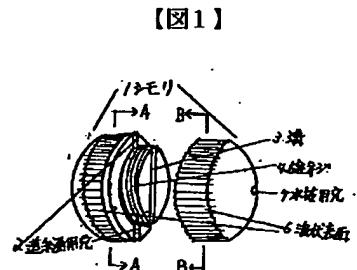
4

【図4】本発明の図1のシモリの左側の雄ネジの方の平面図及び右側の雌ネジの方の平面図である。

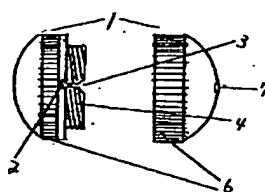
【図5】本発明の図1のシモリを、道糸用サルカン(10)と道糸(8)に付けた浮き止めゴム(16)の間に浮き用サルカン(14)を挟むように、左側の雄ネジと右側の雌ネジで締め付け取り付けた2個のシモリの正面図と釣現場での使用場所を図示したものである。

【符号の説明】

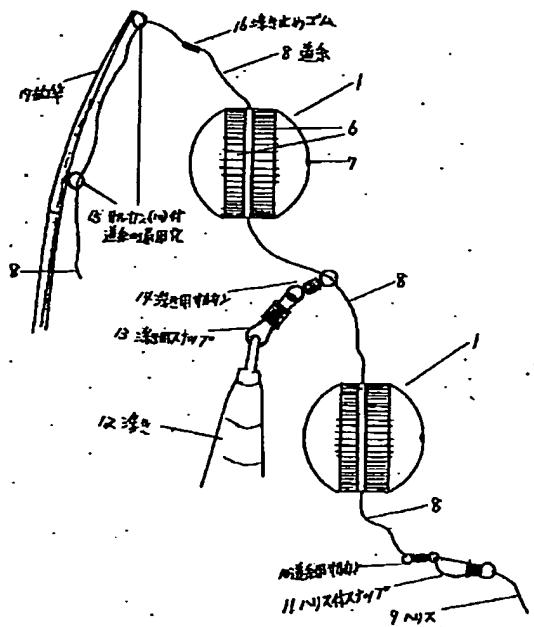
1	シモリ
10	道糸通用穴
3	溝
4	雄ネジ
5	雌ネジ
6	波状表面
7	水抜用穴
8	道糸
9	ハリス
10	道糸用サルカン
11	ハリス付スナップ
12	浮き
13	浮き用スナップ
14	浮き用サルカン
15	サルカン(10)付道糸の通用穴
16	浮き止ゴム
17	釣竿



【図4】



【図5】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.